

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリンちゃん」

令和5年11月発行

【遠野市少年センター】遠野市新町1-10 遠野市民センター内 / TEL: 0198-62-4413

令和5年度「岩手県子ども・若者育成支援推進強調月間」について

県では、子供・若者育成支援推進大綱に設定された「子供・若者育成支援推進強調月間」に呼応し、11月を「岩手県子ども・若者育成支援推進強調月間」と定め、子ども・若者育成支援に対する理解を深めるとともに、各種活動への積極的な参加を促し月間の充実と定着を図ることとしています。

また、今年4月に創設されたこども家庭庁でも、11月を「秋のこどもまんなか月間」として、こどもや子育て世帯を社会全体で支えるために、自治体や関係機関・団体への周知、協力を依頼しています。

遠野市少年委員の皆さまも、引き続き街頭補導活動での青少年への声掛けや、ながら見守りへのご協力をお願いいたします。

令和5年度「情報メディア対応能力養成講座」参加募集について

1. 趣 旨

青少年の非行・被害を未然に防ぐことを目的として、青少年健全育成関係者や保護者を対象に、インターネット上の有害情報やネットを巡る問題、トラブル、ネット依存など青少年を取り巻く現状への理解を深め、情報メディアへの対応能力を養成するために開催する。

2. 主 催

岩手県、公益社団法人岩手県青少年育成県民会議

3. 開催日時及び場所

令和5年12月6日(水) 13時30分から16時00分

釜石市情報交流センター 会議室

【事例紹介】「インターネットを巡る青少年の犯罪被害の現状と課題」

講師：岩手県警察本部生活安全部 人身安全少年課

【講 話】「e-ネット安心・安全講座 plus」

講師：e-ネットキャラバン認定講師

(一般財団法人マルチメディア振興センター)

※参加を希望される方は、11/17(金)までに、遠野市少年センター62-4413(内線275)宛にご連絡ください。

※講話については、後日動画配信も行われる予定です。詳細は来月以降の少年センターだよりでお知らせします。

10月の街頭補導活動より

10月20日(金) 15:20~

小学校の記念行事も一週間前に終わり、校舎から出てくる生徒たちにいつものあいさつをおこなった。皆さんに、行事のこと、歌や演奏や昔話の語り、綾織を題材にした劇について、すべてが良かったと伝えると、少しはにかみながらうれしさを返してくれました。一生懸命練習したんでしょね。自信にあふれた表情に、私たちもにこやかになった巡回日でした。

— 一部抜粋 — (綾織班)

10月12日(木) 7:20~

10日~13日まで徒歩通学期間でしたので、通学時の活動を実施した。朝は子ども達も元気がいいですし、大勢の子ども達に声をかけることができました。(附馬牛班)

10月13日(金) 15:30~

久しぶりに高校生(遠高サッカー部)と会う。北小の子どもたちは元気に下校する。寒くなってきたのに半袖の子もいた。また、前日にイノシシが学校の敷地内で目撃されたという話を聞いてびっくりする。(松崎班)

10月17、20、24、25、27日 8:40～
 遠野小学校児童が学習発表会の練習のため、小学校～市民センターまで徒歩移動する際に、安全に移動できるよう見守りを行った。主に一日市商店街の方と協力し、少年委員数名で、インディの交差点から新里豆腐店、あえりあ付近の信号機のない横断歩道の所に立ち、子ども達が渡る際のサポートをした。
 子どもたちは、渡る際に元気よくあいさつをし、手を挙げて渡っていた。
 市民センターから学校へ戻る際にも、同様に見守りを実施した。 (少年センター)



令和5年度 岩手県少年センター連絡協議会県外研修に参加しました

令和5年10月19日(木)に、岩手県少年センター連絡協議会主催の県外研修として、仙台市子ども若者相談支援センターとの合同研修会に参加しました。

県内12か所の少年センターから職員が出席し、仙台市子ども若者相談支援センターの活動状況を聞き、意見交換などを行った後、4つのグループに分かれて仙台駅周辺や繁華街での街頭指導活動を行いました。

仙台市では、20歳未満の喫煙に対する指導が、令和4年度12件に対し、令和5年は10月時点ですでに32件と増加しており、警察による補導事案も同様に増加しているそうです。

合同で実施した巡回活動では、仙台駅西口のデッキや商店街にあるゲームセンターを中心に巡回を実施しました。午後5時を過ぎると、地元の女子高校生はゲームセンター内に設置されている無料のメイクルームを利用して、着替えや化粧をした後繁華街に行くそうですが、そこで若い女性を狙った盗撮の被害や、「キャッチ」と言われるキャバクラなど飲食店の客引きに声をかけられるトラブルに巻き込まれることも少なくないとのことでした。

また、平日午前中の巡回活動では、制服姿で遊んでいる生徒に怠学への指導を行い、常習性のある生徒に関してはゲームセンター側から情報提供がある場合もあり、学校と連携しながら指導活動を実施しているそうです。

仙台市の指導員の方は、笑顔で子ども達へ声をかけ、相談先が書かれている「ふれあいカード」を手渡ししながら、受け身になりがちな相談支援についても、アウトリーチの相談を心がけて活動されているということでした。

遠野市での街頭補導とは、子ども達を取り巻く生活環境が大きく違い、同じような活動は難しい場合もありますが、「困ったことがあった時には相談できる場所があるよ」「あなた達を見守っている大人がいるよ」というメッセージを伝えるという部分は共通していると感じました。

実践的な巡回活動はもちろんですが、県内の少年センターの皆さんとも様々な意見交換ができ、今後の活動に活かせる非常に有意義な研修になりました。



仙台市子ども若者相談支援センター



仙台市内のゲームセンター前